



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所 東  
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 政治  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	5,234	37.4	412	41.8	434	49.7	291	87.4
24年3月期第2四半期	3,810	△31.4	291	△51.2	290	△51.0	155	△48.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 201百万円(56.3%) 24年3月期第2四半期 128百万円(△37.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第2四半期	円 銭 12.94	円 銭 —
24年3月期第2四半期	円 銭 6.91	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第2四半期	百万円 22,888	百万円 12,210	% 53.3
24年3月期	21,373	12,076	56.5

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 12,210百万円 24年3月期 12,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	11,014	24.0	1,304	85.1	1,319	79.9	679	49.8	30.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期 2 Q	22,500,000株	24年3月期	22,500,000株
25年3月期 2 Q	4,121株	24年3月期	4,071株
25年3月期 2 Q	22,495,927株	24年3月期 2 Q	22,496,029株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日）におけるわが国経済は、海外経済の減速状態が強まっていることを反映して輸出や生産が減少し、内需にもその影響が波及しはじめております。また、景気は長引く円高とデフレの悪循環により低迷が続いております。

当社グループのコア事業の主要販売先となる遊技場業界は、1パチ・5スロ等のいわゆる低玉貸営業の普及が加速しつつあることから収益構造が著しく変調しております。

このような経営環境の中、当社グループは、製造・販売・アフターサービスの一貫体制を堅持して付加価値向上に努め、機器事業における周辺機器において、『樹脂研磨式メダル自動補給システム』を戦略製品に位置づけ、これの拡販に注力しました。

また、遊技機は、中長期的な販売戦略に基づき、遊技プレイヤーの人気と市場の圧倒的な支持の獲得に向けたパチスロ機の開発活動に注力してまいりました。機器事業全体は前年同期に対して増収増益となりました。

不動産賃貸事業におきましては、当期中における賃貸用の新規物件の取得が無く、賃貸収入は前年同期と同程度となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高5,234百万円（前年同期比37.4%増）、経常利益434百万円（前年同期比49.7%増）、四半期純利益291百万円（前年同期比87.4%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (機器事業)

機器事業につきましては、当第2四半期は売上高4,941百万円（前年同期比41.0%増）、セグメント利益430百万円（前年同期比49.2%増）となりました。

## (不動産事業)

不動産事業につきましては、当第2四半期は売上高309百万円（前年同期比4.1%減）、セグメント利益213百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（平成24年3月31日）に比べ1,514百万円増加し、22,888百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,227百万円増加し、11,776百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加（1,009百万円増）、商品及び製品の増加（911百万円増）、仕掛品の増加（168百万円増）の一方で、現金及び預金の減少（374百万円減）、有価証券の減少（300百万円減）、原材料の減少（143百万円減）によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ287百万円増加し、11,111百万円となりました。これは主に土地の増加（454百万円増）の一方で、建物及び構築物（純額）の減少（114百万円減）、投資有価証券の減少（71百万円減）によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,380百万円増加し、10,677百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加（705百万円増）、短期借入金の増加（700百万円増）の一方で、長期借入金の減少（70百万円減）によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ133百万円増加し、12,210百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(223百万円増)の一方で、その他有価証券評価差額金の減少(89百万円減)によるものです。

この結果、自己資本比率は53.3%と前連結会計年度末に比べ3.2ポイント減少しました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動による471百万円の支出、投資活動による465百万円の支出、及び財務活動による561百万円の収入となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ374百万円減少し、2,650百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は471百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益444百万円の計上、減価償却114百万円の実施、仕入債務の増加692百万円がある一方で、たな卸資産の増加949百万円、売上債権の増加459百万円、その他に含まれる前渡金の増加158百万円、法人税等の支払額85百万円があったことによるものです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は465百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出540百万円、貸付けによる支出300百万円がある一方で、有価証券の償還による収入300百万円、有形固定資産の売却による収入86百万円があったことによるものです。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は561百万円となりました。これは主に短期借入金の純増額700百万円、長期借入れによる収入500百万円の資金取得がある一方で、長期借入金の返済570百万円、並びに配当金の支払67百万円があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降に出荷を予定している主力製品の受注が好調に推移しておりますので、平成24年5月11日に公表いたしました通期(平成24年4月1日から平成25年3月31日)の連結業績予想を修正いたしました。

なお、期末配当予想につきましては、1株当たり3円を1株当たり5円に修正いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※本資料に記載した業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,025,016	2,650,331
受取手形及び売掛金	2,358,816	3,367,901
有価証券	300,840	—
商品及び製品	710,212	1,622,201
仕掛品	577,860	746,650
原材料	2,121,109	1,977,802
繰延税金資産	63,373	81,896
その他	1,410,940	1,353,564
貸倒引当金	△19,305	△23,745
流動資産合計	10,548,863	11,776,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,331,533	2,217,139
土地	6,697,388	7,152,342
その他(純額)	151,706	181,124
有形固定資産合計	9,180,628	9,550,606
無形固定資産		
	14,010	13,822
投資その他の資産		
投資有価証券	1,088,787	1,017,727
長期預金	100,000	100,000
繰延税金資産	4,697	4,657
その他	477,004	464,297
貸倒引当金	△40,800	△39,600
投資その他の資産合計	1,629,690	1,547,082
固定資産合計	10,824,329	11,111,512
資産合計	21,373,192	22,888,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,868,638	3,574,051
短期借入金	300,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,075,596	1,111,296
未払法人税等	106,396	187,888
賞与引当金	41,650	57,660
製品保証引当金	17,000	16,000
その他	228,408	185,929
流動負債合計	4,637,689	6,132,825
固定負債		
長期借入金	3,451,470	3,345,272
繰延税金負債	9,400	8,860
退職給付引当金	24,878	26,525
役員退職慰労引当金	434,750	444,328
負ののれん	3,838	2,303
資産除去債務	60,034	60,607
その他	674,664	656,934
固定負債合計	4,659,036	4,544,830
負債合計	9,296,725	10,677,656
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	10,492,375	10,716,082
自己株式	△3,889	△3,902
株主資本合計	12,169,085	12,392,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△92,618	△182,319
その他の包括利益累計額合計	△92,618	△182,319
純資産合計	12,076,466	12,210,459
負債純資産合計	21,373,192	22,888,115



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,810,964	5,234,464
売上原価	2,813,602	4,077,154
売上総利益	997,361	1,157,310
販売費及び一般管理費		
販売促進費	96,663	16,414
役員報酬	92,329	93,778
給料手当及び賞与	91,033	104,145
賞与引当金繰入額	21,042	29,509
退職給付費用	14,039	14,360
役員退職慰労引当金繰入額	4,956	9,577
その他	386,082	476,600
販売費及び一般管理費合計	706,149	744,387
営業利益	291,212	412,922
営業外収益		
受取利息	898	1,624
受取配当金	10,424	14,517
その他	11,202	25,576
営業外収益合計	22,524	41,718
営業外費用		
支払利息	23,407	18,515
その他	156	1,779
営業外費用合計	23,563	20,294
経常利益	290,174	434,346
特別利益		
固定資産売却益	—	10,407
特別利益合計	—	10,407
税金等調整前四半期純利益	290,174	444,754
法人税、住民税及び事業税	119,300	172,582
法人税等調整額	15,512	△19,023
法人税等合計	134,812	153,559
少数株主損益調整前四半期純利益	155,361	291,194
四半期純利益	155,361	291,194

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	155,361	291,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26,480	△89,700
その他の包括利益合計	△26,480	△89,700
四半期包括利益	128,881	201,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,881	201,494

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	290,174	444,754
減価償却費	103,255	114,722
貸倒引当金の増減額(△は減少)	10,880	3,240
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,000	△1,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△300	16,010
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,334	1,646
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,956	9,577
受取利息及び受取配当金	△11,322	△16,141
支払利息	23,407	18,515
売上債権の増減額(△は増加)	299,872	△459,804
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,523	△949,850
仕入債務の増減額(△は減少)	△642,548	692,583
その他	△249,518	△258,458
小計	△165,284	△384,204
利息及び配当金の受取額	11,322	16,919
利息の支払額	△23,612	△18,428
法人税等の支払額	△399,290	△85,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	△576,865	△471,503
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	10,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△34,685	△540,716
有形固定資産の売却による収入	—	86,842
貸付けによる支出	△30,300	△300,200
貸付金の回収による収入	2,685	3,150
子会社株式の取得による支出	△10,200	△17,800
その他	△5,370	3,591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,870	△465,132
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	700,000
長期借入れによる収入	1,100,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△775,220	△570,498
自己株式の取得による支出	—	△13
配当金の支払額	△67,414	△67,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	257,365	561,951
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△387,369	△374,684
現金及び現金同等物の期首残高	4,357,177	3,025,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,969,807	2,650,331

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	3,504,585	306,378	3,810,964	—	3,810,964
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	16,213	16,213	△16,213	—
計	3,504,585	322,592	3,827,177	△16,213	3,810,964
セグメント利益	288,606	234,041	522,648	△231,435	291,212

(注) 1 セグメント利益の調整額△231,435千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機器事業	不動産事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,941,536	292,928	5,234,464	—	5,234,464
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	16,320	16,320	△16,320	—
計	4,941,536	309,248	5,250,784	△16,320	5,234,464
セグメント利益	430,491	213,711	644,203	△231,280	412,922

(注) 1 セグメント利益の調整額△231,280千円は、提出会社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。